

Volume 24
July 2006

4

JAPAN REGION

目 次
Table of Contents

今期のテーマ	2005—2006 Themes	1
第24回 ITC 日本リージョン年次大会	The 24th Japan Region Annual Conference	
大会テーマ・基調演説	Conference Theme & The President's Keynote Speech	2
ITC からのお知らせ	News from ITC	4
役員・委員会報告	Officers' and Committees' Reports	6
書 記	Secretary	6
選 挙	Election	7
会則・決議	Bylaws and Resolutions	8
予算・財務	Budget and Finance	9
年次大会ハイライト	Conference Highlights	10
CMT & TPP		10
「国際関連事務手続き」についての研修会	Management Training for the Club Treasurer	11
インスピレーション	Inspiration	12
プログラム 講演 C. W. ニコル氏	Lecture	13
全体参加のワークショップ	Workshop	14
講演 高円宮妃久子殿下	Lecture	15
次期会長就任挨拶	The President-Elect's Acceptance Speech	17
スピーチコンテスト 日本語	Speech Contest (Japanese)	18
スピーチコンテスト 英語	Speech Contest (English)	19
表彰 会員 資格・認証	Awards	20
晩餐会・エンターテイメント	Banquet & Entertainment	21
準備委員会 謝辞	Gratitude from the Coordinator	22
大会参加者からの声	Comments on the Conference	23
インフォメーション	Information	26
編集後記	Message from the Editor	裏背表紙
ITC 宣誓及び声明文	ITC Pledge • Mission Statement of Japan Region	裏表紙

I T C 日本リージョン第24期テーマ

2005—2006

Japan Region Theme

変化 そして 飛躍 “Change and Leap”

日本リージョン会長
泉 和子



I T C テーマ

“Lift up your Life . . . and SOAR”
自らを高め、そして飛躍しましょう！

I T C 国際会長
Terrie Baxter



ディビジョンIV副会長
Margaret Sutherland



第24回 ITC日本リージョン年次大会

大会テーマ「MAGMA－内なる力－」 基調演説



ITC日本リージョン第24期会長 泉 和子

この第24回 ITC 日本リージョン年次大会を、ここ、横浜の地において、初めて開催する運びとなりましたことを、この上なく嬉しく存じております。この他、この度はご講演を賜ります ITC 名誉会員高円宮妃久子殿下をお迎えし、又開会式には、神奈川県知事、横浜市長のご臨席を頂く事が出来ますことを、至上の喜びと致しております。

ほぼ、開催準備も整い終るつい先日、会長として、思わぬショックを受けましたのは、Terrie Baxter 国際会長の急なご病気の為のご来日中止の連絡でした。

国際会長ご病気のニュースは、世界中の ITC に公表されましたが、国際会長は、ご入院の前日、「和子、必ず日本リージョンへは参ります。私が連絡するまで、待っていて下さい」という Email を受け取りました。関係者以外には一言も口外することなく、ひたすら待ち続けた次のメールは「伺うことが出来なくて本当に悲しく思います」と言う内容でした。

そのメールを受けた日は、プログラム冊子をいよいよ印刷すると言う日でしたが、私は、心に決めていた事をリージョン会長として実行致しました。それは、敢えて変更しようと思えば出来なくはなかったであろう、公式訪問者のお名前、Terrie Baxter をそのままにしてプログラムに掲載することを役員会決議で決定し、急遽公式訪問者の立場をお受け下さった、国際役員副会長 Margaret Sutherland には、その旨のご理解を頂いた次第なのです。

病を押してでも行かなければならないという、国際会長の律儀なお気持ちを確認にお受けしておりながら、無残にもプログラム冊子からお名前を取り除く事と、実行するに、正しく記載されていないプログラム冊子を採択できないと言う大会規則と、どちらを取るかと、熟慮を重ねましたが、結果、私は、マニュアルを越えた公の使命実行に踏み切りました。ITC は規則にばかり縛られて勉強をしているのではなく、相手を慮る気持ちを持つことを第一に、その時の情勢を適切に処理する事を学び、その結果を社会に役立てる事に在ると言う ITC の目標の1つから鑑みて、私はプログラム冊子の公式訪問者の氏名を取り替えないという処置を取りました。従って皆様のお手許にお届けしたプログラム誌は、公式訪問者の氏名は Terrie Baxter のままになっています。この事について会員の皆様方に置かれましても、私の意のある処をお汲み取り頂ければ幸いに存じます。

世界のどこかで今でもいさかいが起こり、又自然災害に悩まされることも多く、国の内外を問わず、経済、社会生活、全ての事に不安定な近年です。そうした社会情勢の影響は、日本リージョンにも、いえ世界のITCへも押し寄せています。20期の会長を務めた時に比べ会員数の減少が特に目立ちます。それは社会がこれだけ変化して来ているから当然です。

そこで、私が考えましたのは、**よい物を継承して、余分を捨てて、上手く変化をさせなければ**ITCの継続の意味がないと考え、今期のテーマを「変化そして飛躍」と定め、その実行に務めてまいりました。さあ、**多様化した社会**についてゆくのも忙しい事でしたし、新たに、**物事を変化させるのも大変**でした。

しかしありがたい事に、ITCで長年コミュニケーションスキルとリーダーシップを身に付けることを勉強している会員たちは、社会にITCを持ち出すことにも相当慣れを見せ、又、現代になくはならぬコンピュータの扱いにも努力を惜しまず、社会に追従してゆくことになれてきておりました。そこで、役員会は、**今期は情報を多く差し出すことによって、会員とコミュニケーションをとろう**と考え、毎月役員会便りを送り出しました。日本リージョンに負けじ、と、いえ、逆かかもしれませんが、国際役員会も、From the Boardroomを毎月送り続け、両方を直接受け取る会員は、いままで情報が少ない、少ないと文句をのたまっていたのに、今度は、多すぎる、多すぎると苦情をおっしゃっているようです。

何事を実行するにも、**結果に「正」と「負」が出てくる事は百も承知している私ですが、そんなことにはお構いなく、全てを公表し、全ての情報を送り続けることが、これが、国際役員会が率先された「360度のコミュニケーションの実行」**に答えることだと言う信念のもと、その手綱を緩める事は致しませんでした。

情報と言え、まだ、それに輪をかけて、今回の、この大会のプログラム誌を、欠席会員にも配布することを役員会は決議致しました。私は、年次大会はその期のリージョンの集大成であると思って居ります。その大会に出席できない会員が、プログラム誌を受け取れないことは、情報を分かち合うことにおいて理不尽なことだと思いました。そこで、会員全員配布を実行致したのです。

又、**伝達技術の充実**はここに在りと、コンピュータを駆使し続けました。20期の時、ITを本格的に取り入れる事には、少しの躊躇がありました。もしかすると、IT革命の波は、人の心から情緒や文化までも揺さぶり取ってしまい、「**心のコミュニケーション**」が希薄化してしまうのではないかと心配しました。しかしそれは杞憂に終り、現在では人間の心に機械が追従して来てくれている感があります。

なぜなら、**人の心は千年を越えても変わりません**。ドイツの詩人、ハイネは、「人間を照らす唯一のランプは理性であり、正の闇路を導く一本の杖は良心である」と申しております。相手を慮る**正しい理性と良心**を持てば、**機械は人の上に立つ事はなく、コンピュータもロボット、従順に人間に従って働いてくれるものと信じて居ます**。その意味で機械に使われないで機械と仲良くしてゆくことが、現代の世の中を上手く渡ってゆく得策だと考えます。

今期は、**実行した方が良いと思われる変化を取り入れて、リージョンの中の整理整頓にあたった年**と考えております。どのような変化をさせたか、何を実行したかは、大会のプログラム冊子、リージョン会報、年次報告等からお汲み取り頂きたいと思います。

只今から始まります、「MAGMA—内なる力—」をテーマに掲げたこの大会が、MAGMAの力を信じて、皆様の内なる力を引き出すことができ、大会が皆様の心の糧となる事を願って、やみません。

最後に、国際会長のご全快を心から念じまして、基調のスピーチを終わります。

The 24th Japan Region Annual Conference

News from ITC 2006

These are extracts from the conference report of the Official Visitor regarding items relating to Japan Region.

- 1. Board Priorities:** At the first meeting the board set the following as its core priorities for the 2005-2007 term:
 - Continuity - of all projects set in place during the 2003-2005 term
 - Commitment - to every member to always ask "What's in it for the member and for ITC?" on every issue decided
 - Communication - 360' communication through the CLO system and the monthly "From the Boardroom" newsletter from the ITC board
- 2. Membership:** Current membership of ITC as of 30 March 2006 is as follows:
MEMBERS : Regular Club members 3612 Life members 715 (266 belong to a club) Members at Large 26 **Total Active Members 4353**
CLUBS : Regular clubs 348 Clubs at large 14 Clubs Outside Regions 1 Zenith clubs 8 **Total Active Clubs 371**
- 3. Master Manual:** The complete First Edition of the new ITC Master Manual has been available since July 2005. It can be purchased on line as a hard copy or CD. It can also be downloaded directly from the ITC website. The Accreditation Program is now incorporated in the Master Manual. This is designed to encourage all members to commence the Accreditation as soon as they join ITC and have a copy of the Manual. The Second Edition will be launched at the President's Training Weekend in The Hague. This edition will include Section 9, ITC Manuals and Handbooks. A complete section on Debating Skills is also being developed for inclusion in the future.
- 4. PowerTalk:** Power Talk is a training program designed for ITC with the purpose of offering a compact 'Short Course' for those demanding professional training in presentation skills in a limited time, with the added benefit of an assessment at the end of the course and a certificate for successful completion. As such, the PowerTalk course may be presented by experienced and quality ITC members: as a recruitment tool for new members or as a means of continued self-improvement for continuing members. The PowerTalk program can be accessed on the ITC website as well as in the ITC Master Manual.
- 5. Fellows of ITC:** Fellows of ITC are a team of first class ITC International Trainers who are able to represent the International Board as Official Visitor, train members at TPP, act to spread Power Talk or lead the program at all levels at the Board's request and direction, on behalf of the International Board.
- 6. PREM:** You can find the PREM newsletter "ITC Power Lines" on the website. The Target Twenty Twenty project is continued as a PREM initiative this term. When your club increases its membership since 1 August 2005 by 20%, or increases it to 20 members, make application for your award to the PREM Chairman, Mary Marshall, using the form on the ITC website.
- 7. Cosmopolitan Speech Contest:** Following last year, this event will be conducted again at convention in Brisbane next year. This contest is for a member from each region whose first language is not English and who has not been educated in the English Language. The region determines the process for selection of its candidate, but he/she must be eligible under all conditions according to the ITC Speech Contest.
- 8. Coming Events:** • President's Training Weekend in The Hague, The Netherlands 27 - 29 • October 2006 ITC International Convention in Brisbane, Australia 21 - 25 July 2007
Information and Registration forms for each of these events can be found on the ITC website.
- 9. Recommendation for utilizing Website**
You can find a lot of information on the ITC Website. So the ITC Board recommends that you to make the best use of it. www.itcintl.com

ITCからのお知らせ 2006

下記は、去る7月、第24回日本リージョン年次大会の席上、公式訪問者により報告された News from ITC の内容から、主に日本リージョンに関連のある事項のみ、抜粋したものです。

1. 役員会の優先事項

役員会の最初の会合で2005-2007年度期の中心優先事項を以下の通り決定しました。

- ・継続—2003-2005年度の期間中に決定されたすべての計画
- ・公約—決定事項すべてに関してあらゆる会員に対し常に「それが会員にとって、又 ITC にとってどんな得になるのか」を問いかけること
- ・コミュニケーション—CLO 制度と ITC 役員会からの毎月のニューズレター「国際役員会から」を通して行う360度のコミュニケーション

2. 会 員

2006年3月30日現在で ITC の会員数は以下の通りです。

会 員：一般クラブ会員	3612人	終 身 会 員	715人 (266人がクラブに所属)	
無 所 属 会 員	26人			正会員合計 4353人
クラブ：一 般 ク ラ ブ	348	無 所 属 ク ラ ブ	14	
リージョン外のクラブ	1	ジ ー ニ ス ク ラ ブ	8	正規クラブの合計 371

3. マスターマニュアル

初版は2005年7月から1冊の本としてもCDでもネットでも ITC ウェブサイトから入手できます。資格認証のプログラムも組み込まれ、今まで関心のなかった在籍会員も又新入会員も、マスターマニュアルを入手後すぐ資格認証過程を始める事が便利であることを意図して作られています。第2版は10月にオランダ、ハーグで行われる会長のトレーニング・ウィークエンドで発行されます。それには第9章 ITC のマニュアルとハンドブックが含まれており、更に完全なディベート技術に関する章も将来マニュアルに含まれるべく作成中です。

4. パワートーク

パワートークは ITC のために企画された訓練用のプログラムで、限られた時間内でプレゼンテーション技術の訓練を要求する人々に簡潔な「短期コース」を提供する目的を持っており、コースの最後には評価を受け、修了証明書も入手できます。ですから、パワートークのコースは・新入会員募集のための手段としても、又、継続会員に対する継続的な自己改善の手段として経験豊富な ITC 会員が行うものです。パワートークプログラムは ITC マスターマニュアルと同様 ITC ウェブサイトでもアクセスできます。

5. フェローオブ ITC

フェローオブ ITC は、訓練者として役員会を代表できる一流の ITC 国際訓練者のチームです。国際役員会の要望と指示の下にリージョン大会で公式訪問者を務めたり、TPP で会員を指導したり、パワートークの普及に務めたり、各レベルのプログラムの指導などにあたります。

6. PREM

PREM のニューズレター “ITC パワーライン” はウェブサイトに掲載され、20/20 の企画も今年度も継続しています。2005年8月1日以降会員を20%増やしたか、20人に増やしたクラブがあれば、ITC ウェブサイトにある用紙を使用して PREM 委員長のメアリー・マーシャルに賞の申請をしてください。

7. コスモポリタンスピーチコンテスト

昨年に続き、来年のブリスベン世界大会でも再び行われる予定です。このコンテストは第一言語が英語以外のリージョン出身で、英語で教育を受けたことのない会員のためのものです。候補者の選考過程はリージョンが決定しますが、候補者は ITC のスピーチコンテストに従いすべての条件において有資格者でなければなりません。

8. 今後の行事：・2006年10月27-29日のオランダ ハーグでの ITC 会長のトレーニングウィークエンドと2007年7月21-25日オーストラリア ブリスベンでの ITC 世界大会が、今後の行事です。これらの行事の情報、登録用紙は ITC ウェブサイトに掲載してあります。

9. ウェブサイト利用のお勧め

ITC のウェブサイトには、沢山の情報が掲載されています。是非ご活用ください。 www.itcintl.com

第24回 ITC日本リージョン年次大会

年次報告

2005～2006

第24期日本リージョン書記 荒川 昭子

第24期リージョン役員会は、会則・常規及び役員会方針に基づき、泉和子会長のテーマ『変化そして飛躍』を实践する為に長期と短期両目標を目指して以下の活動を行った。

長期目標

- ◎ 組織運営研究・・・事務局体制
- ◎ 会員の増強

短期目標

- ◎ マスターマニュアル翻訳完成と活用
- ◎ Power Talk ITC の活用
- ◎ 伝達技術の充実
- ◎ 年次大会の形態変化

1. クラブ数・会員状況

日本リージョンは、今期8カウンスル、87クラブ（内、無所属クラブ1）

会員数1,607名（内、重複会員51名）でスタートした。

6月28日現在、クラブ数87（内、無所属クラブ1）

会員数1,670名（内、重複会員48名）である。

2. 研修会報告

- ① CMTは、2006年7月3日ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにおいて12部門を開催した。
- ② 今期初めて「国際関連事務手続き」についての研修会をクラブ関係者を対象にCMTと同時に開催した。
- ③ TPP（Training Power Pack）は、Margaret Sutherland 公式訪問者によって7月3日に行われた。
- ④ 年次大会の評価は7月5日大会終了後、公式訪問者により新旧リージョン役員を対象として行われ、続いてRMT（Region Management Training）が、同じく公式訪問者により行われる予定である。
- ⑤ 每期11月に開催されていたCMTを廃止し、代わりにEメールにて情報交換を行った。
- ⑥ カウンスル会長会議を2回開催し、各カウンスルの動向を把握した。
- ⑦ カウンスル書記、CLO、ブリスベン世界大会参加促進委員会等の各アンケートを実行した。
- ⑧ 「Power Talk ITC」のワークショップをFITCの泉和子会長を講師に、福山と京都にて全会員を対象に開催する等「Power Talk ITC」の普及に努めた。

3. 主な活動

- ① 役員会は、現在まで12回を大阪及び神戸にて開催した。役員会以外に常時Eメールにて通信役員会を行った。
- ② 8カウンスルへは2005年秋に、7名の役員が公式訪問をした。
- ③ 今までのリージョンメールを『日本リージョン役員会便り』と名称を改め、会長の指示のもと、事務局の協力を受け、翻訳されたFtBと共にE-mail送信により各クラブCLOに配布すると同時にリージョンウェブサイトに掲載した。

- ④ 特別委員会に新たに「危機管理委員会」「ブリスベン世界大会参加促進委員会」を設置した。
- ⑤ 「監修チーム」を設定した。
- ⑥ 「Power Talk ITC」を増刷し、日本リージョン資料「プログラム作りのアイデア」(改訂版)を発行した。

4. その他の報告事項

- ① ITC会則自動修正により、リージョンは「CLO」を任命役員におき、クラブの「Eメール係り」をクラブCLOとした。
- ② 国際からの通達によりリージョン会則のデシマル化を実行した。
- ③ 「個人情報保護法案」を受けて、「リージョン会員名簿」の取り扱いに注意を促す一文を表紙に記載した。
- ④ 翻訳中の新しいマスターマニュアルと4種の教育資料は、現在監修中である
- ⑤ リージョン会報は、年4回発行予定で、これまでに3回発行し、全会員に配布された。
- ⑥ 今期初めて日本リージョンの正式パンフレットを日本リージョン基金を使用して作成し、全クラブに1冊ずつ配布し、現在は事務局で販売されている。以前からの三つ折りリーフレットは内容を大幅に見直し、四つ折りリーフレットと共に増刷した。
- ⑦ 会計監査委員会は2006年3月27日に中間会計監査を行った。
- ⑧ 予算財務委員会は、6月15日に補正予算案を作成し、これを役員会は承認した。
- ⑨ クラブ設立からの継続年数と会員在籍年数の数え方の統一を図った。
- ⑩ 外部活動用の「企画書」提出を規定した。
- ⑪ 「重複会員の権利と義務」の書面配布により、重複会員の意識、責任を促した。
- ⑫ 第24回年次大会を2006年7月3日4日5日の3日間、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル及びパシフィコ横浜にて、テーマを『MAGMA—内なる力—』として開催中である。
- ⑬ 大会関係の変化
 - a. ビジネス内での委員会報告を取りやめ、大会冊子に記載した。
 - b. 大会冊子は、欠席会員にも配布するという、初の試みを行った。
 - c. 個々のワークショップを取り止め、国際役員2人による全員参加型の大ホールでのワークショップを行う。即ち、食事以外の行事を全て同じ場所で行うことにより、経費節約と研修参加者の平等性を重視した。
 - d. 晩餐会を立食形式にすることにより、例年と異なる雰囲気作りを試みる。

以上

第24期役員会は、テーマ『変化そして飛躍』に添って、数々の変化を試み、日本リージョンが更に飛躍して発展するように、任務を遂行してきました。

選挙結果報告

第25期 2006-2007 日本リージョン役員

指名委員

会 長	石本美知子	カウンスルNo.5 大 阪クラブ		柳川 公子	カウンスルNo.2 甲南クラブ
次期会長	加藤 啓子	カウンスルNo.2 甲 南クラブ		相川真貴子	カウンスルNo.8 瀬・鯉クラブ
第一副会長	岡崎 祥子	カウンスルNo.7 米 子クラブ		三村 敦子	カウンスルNo.6 都 クラブ
第二副会長	沢田 郁	カウンスルNo.3 姫 路クラブ			
書 記	立花 真琴	カウンスルNo.2 神 戸クラブ			
会 計	近本 節子	カウンスルNo.4 瀬戸内クラブ			

日本リージョン選挙委員会

第24回 ITC日本リージョン年次大会

日本リージョン会則・常規修正の報告

Amendments to Japan Region Bylaws and Standing Rules

会則・決議委員長 岡崎 祥子

第24回日本リージョン年次大会に提出された日本リージョン会則に対する修正案6件、常規に対する修正案1件は、修正案1から順次審議され、その結果は次の通りとなったことを報告致します。下線の部分が修正されたところです。

* 修正案1. : 審議の結果「委員会付託」となった。

従って、後に続く関連する修正案2及び3も同様に「委員会付託」となった。よって現行会則に変更はない。

* 修正案4. : 「可決」された。

従って、常規2.3. は下記の記述に修正された。

2.3. 「年会費は8月1日又はそれ以前にクラブによって支払われるものとする。

この組織に入会する時、会員はクラブに会員の申請をした月からその会計年度の終わりまで月割りで計算した会費を支払う。」

* 修正案5. : 「可決」された。

従って、新たな第10条が挿入されることになった。

第10条

10. ITC日本リージョン事務局 (ITC JAPAN REGION OFFICE)

10.1. 日本リージョンは、役員会管理のもとに日本リージョン事務局を置く。

10.2. 目的：会員の事務業務を行う。

これにより、会則第10条以降の条項が繰り下がることになった。また常規8. の英文語句 (ITC JAPAN REGION OFFICE) および8.2. 目的が削除された。並びに常規8.3. ~8.7. は順次繰り上がることになった。

* 修正案6. : 「否決」された。

従って会則に変更はない。

* 修正案7. : 「可決」された。

従って、会則9.4. のジーニスクラブは削除され、新たに第12条にジーニスクラブが挿入されることになった。

第12条

12. ジーニスクラブ

12.1. ジーニスクラブと称される若年のクラブは、首尾一貫したITC方針をもって、スピーチ技術及びグループ指導力の学習と演習をするものとして、リージョン役員会より認可される。クラブは、リージョン会員あるいはジーニスクラブの手引きに沿って、プログラムを統轄する資格のある人によって援助される。会費は役員会が決定する。申請書受理の時点で、加盟証明書が交付される。このクラブの会員は、ITC教育資料を購入することができる。

これにより、会則第12条以降の条項が繰り下がることになった。

以上

ITC 日本リージョン 第24期会計補正予算書

The 24th Japan Region Revised Budget 2005.8.1—2006.7.31

収入の部 Revenues

(単位：円)

科 目 Subject	予 算 額 Budget	備 考 Remarks
前期繰越金 Balance Brought Forward	4,147,020	
年 会 費 Dues	6,224,000	4,000円×1,556名
新 入 会 員 New Members	244,000	4,000円×40名+2,000円×42名
受取利息・雑収入 Interest & Miscellaneous Income	305,947	305,447円：ふじクラブ廃部による入金
合 計 Total	10,920,967	

支出の部 Expenditures

科 目 Subject	予 算 額 Budget	備 考 Remarks
会報印刷費・送料 Bulletin Printing & Postages	2,000,000	4回
事務局運営費 Office Operation Expenses	3,500,000	
交 通 費 Transportation		
選 出 役 員 Officers	650,000	含 宿泊補助
任 命 役 員 Appointed Officers	76,000	含 宿泊補助
委員会補助 Committee Members Subsidy	700,000	委員長全額、委員半額
役員活動費 Officers' Activity Expenses		
会 長 President	60,000	
次 期 会 長 President-Elect	15,000	
第一副会長 1st Vice President	50,000	
第二副会長 2nd Vice President	10,000	
書 記 Secretary	30,000	
会 計 Treasurer	40,000	
C L O Communication Liaison Officer	5,000	
議会議規役員 Parliamentarian	10,000	
編 集 者 Editor	50,000	
役員会会場費 Meeting Room	15,000	10回
常任委員会活動費 Standing Committee Expenses		
資格認証 Accreditation	15,000	
会計監査 Audit	5,000	
予算・財務 Budget & Finance	5,000	
会則・決議 Bylaws & Resolutions	15,000	
大会準備 Conference Planning	2,500,000	
選 挙 Election	5,000	
増 設 Extension	20,000	
国際交流 International Relations	10,000	
会 員 Membership	35,000	含 表彰状費
指 名 Nominating	20,000	
プログラム・教育 Program & Education	50,000	含 CMT (リージョン大会) 資料費
広 報 Public Relations	100,000	
スピーチコンテスト Speech Contest	70,000	
特別委員会活動費 Special Committee Expenses		
ブリスベン大会参加促進 Brisbane Convention Promotion	1,000	
危機管理 Contingency	3,000	
通信書記 Corresponding Secretary	3,000	
派遣員資格確認 Credentials	5,000	
寄付・遺贈 Donations & Bequests	5,000	
教育研究 Educational Research	10,000	
組織運営研究 Study of Organization Management	10,000	
慶 弔 費 Greetings & Condolences	20,000	
接 待 費 Hospitality	20,000	含 公式訪問者記念品
役員就任式費 Installation of Officers	15,000	
雑 費 Miscellaneous Expenses	20,000	
物品購入費 Purchase of Materials	10,000	
小 計 Sub Total	10,183,000	
予 備 費 Reserve Fund	540,520	
合 計 Total	10,723,520	

収入の部：予想より42名多い新入会員と、ふじクラブ廃部により残余金の入金があった為増加。

支出の部：交通費は当初未定だったリージョン大会が横浜で開催された為、会員は表彰状の値上がりの為増加。

ブリスベン大会参加促進は新設のため追加。

2006年6月17日

第24期 予算・財務委員会 岸本信子、横山末子



大会ハイライト



CMT・TPP 報告

リージョン次期会長 石本美知子

CMT (カウンスル運営研修会)

7月3日大会第一日目、ヨコハマ・グランド・インターコンチネンタルホテル3階のカヌ・ニースの間に於いて12時より開会された。11時30分からの受付には全国からメンバーが次々と集まり、久しぶりの懐かしさにお喋りに花が咲き、どの顔も明るく輝いていた。

会場のカヌ・ニースの間は美しくゴージャスで、出席者106名は円形テーブル各12部門に分かれて着席し、泉リージョン会長の開会挨拶の後、昼食に横浜名物の海鮮カレーを頂き、研修開始前から和やかな雰囲気に会場は盛り上がった。

いよいよ午後1時より CMT が開始され、それぞれの部門で有益な研修が行われた。

研修内容は、各部門とも以前の形式的なものから実際の仕事内容に沿った実益的な内容に変化され、各カウンスルの実情などに関する話し合いもなされて、1時間30分の時間があっという間に過ぎた内容の濃い研修であった。



TPP (トレーニングパワーパック2006)

CMT に続いて同じカヌ・ニースの間で自由参加で参加者200余名を対象に行われた。

リーダー : 公式訪問者 マーガレット・サザランド

通 訳 : 小菅あけみ (サンデークラブ)

テ マ : 通り道の創造 CREATING THE PATHWAY

オズの魔法使いに登場するドロシーやブリキマン、臆病ライオンや案山子がオズの魔法使いにそれぞれ違ったものをお願いしたように、ITCに入会した会員はひとりひとり違った願い事を持っています。

オリエンテーションは会員が自分の目標を実現させるための「通り道」になるかもしれません。

1. あなたが初めて ITC に入会した時、又は最初に会合に出席した時どんなふうにかんじましたか？
2. 「理想的な」又は「親しみの持てる」又は「会員の立場に立った」オリエンテーションとはどんなものか？
3. ITC のオリエンテーションで必ず伝えなければいけないことは？

などについて、会員からは活発な意見が出て、その意見を肯定的なもの否定的なものに振り分け話し合った。

研修は最初に ITC 参加者宣言が書かれた用紙が配られ、それを全員で唱和してから始められ、最後には「通り道を創りなさい」の歌を合唱して楽しいムードの中に研修を終えた。



♪ Follow the ITC Rd Follow, follow, follow, follow Follow the ITC Rd
ITCの道をたどって行こう 行こう 行こう 行こう

We're off to see the wizard, the wonderful wizard of AUS SEE YOU IN BRISNANE
素敵なオズ (オーストラリア) の魔法使いに会いに行こう ブリスベンで会いましょう ♪

大会ハイライト

「新しく増えた研修会」について

日本リージョン事務局長 柳川 公子



今期初めての試みとして、「国際関連事務手続き研修会」がリージョン第一日目に、クラブ担当者を対象に開かれました。国際関連事務手続きと言うのは、IMSへ提出する用紙（Annual Statement of Club Membership, Multi Action Form, New or Rejoining Membership Form）の記入の仕方や年会費の送金の手続きなどのことです。IMSへの用紙送信、送金等は事務局が、クラブのものをまとめて、代行しております。

ITC年会費はNZドルでの送金のため、郵便局や地方の銀行で送金することはできません。都市部でも限られた一部の銀行でしか送金できない上、一回に5,000円を越える振り込み手数料が必要です。この為、会員の利便を図って、事務局でとりまとめて、IMSへ送金することになったのです。

今までカウンスルのCMTではITC年会費の納入方法は研修されないため、毎年変わるクラブ会計にとっては、これらの手続きは初体験でわかりにくいのです。そのため、間違いも多く、会員からの要望もあって、今回リージョン役員会によってこの研修会が計画されました。

当日は94名の出席があり、説明と、ワークショップ形式で用紙への記入の仕方を実習し、質疑応答も時間を充分とり、出席された方からは、よくわかったとの評価をいただきました。ただ、この研修会に出席するだけのために登録費が必要なことには一部に不満もあったようです。リージョン会長からこれはリージョン大会の一部であり、大会第一日目だから、当然登録費は必要とした旨の回答がありました。

「国際関連事務手続きの研修」は有用ですので、今後は、リージョン大会にクラブ担当者が集まるのがよいか、各カウンスルへ事務局から出前研修をするのがよいか等、有効な研修会の持ち方を検討していけばよいでしょう。



大会ハイライト



インスピレーション Inspiration

早川 住江 (大阪クラブ)

あなたにおはなしするときは
ゆっくりあたためとどけたい
あなたのことばを聴くときは
しずかに照らしおさめたい

わたしのことばを 胸の火で
あなたのところにやんわりと
わたしの胸のともしびで
わたしのところにしっかりと

里 みちこ「対おはなし話」

When I speak to you,
I want to deliver my words,
Warming them slowly
With the fire in my heart,
To your mind softly.

When I hear you,
I want to keep your words,
Shining them quietly
With the light in my heart,
To my mind firmly.

福田 理彦 訳

大会登録委員会報告

大会登録委員長 小泉千恵子

登 録 者 数					
7月4日(火)	会 員	683名	7月5日(水)	会 員	595名
	ゲスト	58名		ゲスト	41名
晩 餐 会	会 員	469名	総 数	会 員	700名
	ゲスト	17名		ゲスト	68名

大会ハイライト

講演

C. W. ニコル氏 (Clive Williams Nicol)

「森から未来をみる」



日時：2006年7月4日（火）15:15～16:15

場所：パシフィコ 1階 メインホール

プログラムリーダー：伊賀 陽子(六甲クラブ)

講演報告：プログラム委員 葛谷美紀子 (名城クラブ)
沢田 郁 (姫路クラブ)

「ニコルさんはなぜ日本国籍まで取得して日本定住を決意されたのだろう・・・」
誰しもが抱くであろうこの疑問に、氏は講演の中でその答えを披露下さいました。

1940年、氏が誕生し育った英国ウェールズは、一面美しい森に囲まれ、豊かな所であったとのことですが、近代化の荒波に吞まれ環境破壊が進むことに、ニコル少年の心は大変傷つき、美しいロンドンの川さえ、ばい菌しか住めない川に変わり果てた姿に、「ばい菌も苦しんでいたと思う」とユーモア溢れる言葉で心の思いを伝えて下さいました。

17歳の頃より環境問題に取り組む傍ら、武道の修行のため来日された折に訪れた、ブナの原生林の、その余りにも荘厳な美しさに身体中が感動に包まれ、気が付くと溢れる涙が頬を伝っていたそうです。

日本語といえば「らんどり」「はじめ!」「いっぽん」くらいしか知らない柔道青年は、言葉もわからない、祖国から遠く離れた44年前の日本の森に、故郷ウェールズから消え去ってしまった美しい森への思いを重ね合わせていたのかもしれない。

この美しい日本に魅せられ、1978年には定住さえ決意された氏ですが、日本の森も加速度的な破壊が進み、絶望のどん底に突き落とされた心を引きずり訪れた故郷ウェールズには、森の再生に掛ける人々の飽くなき情熱が生きずいていたとのこと。それを目の当たりにした氏は、自分も何か力を尽くしたいと、信州黒姫の森を少しずつ買い集め、故郷の森にちなんで『アフエンの森』と名付け、森林の保全に立ち上がることを決意したのだと語って下さいました。その献身的な行動の原動力は、愛する日本への有難うの気持ちと恩返しである、と最後に結ばれていました。

過日、講演の打ち合わせで氏にお目にかからせていただいた折、日本では絶滅品種と化した数々の植物をアフエンの森に根付かせ、その保護に努めておられることをも熱く語って下さいました。

講演の最後には、アフエンの森の美しい映像が会場に流され、そこには氏自身の素晴らしい歌声がBGMとして添えられており、ひろやかな暖かさとなって会場を包み込み、心洗われる感動のひとつときを与えて頂きました。



大会ハイライト



国際役員による全体参加のワークショップ

「教育における異なった学習の仕方」

ワークショップリーダー：Margaret Sutherland, Wilna Wilkinson

モデレーター：柴田 ひさ（サンデークラブ）

通 訳：奥田小夜子（錦クラブ） 奥村 紀子（松山クラブ）

ワークショップ報告：プログラム委員 杉谷 和代（イースト神戸クラブ）

黒住 裕子（岡山クラブ）

安達 寿子（平安クラブ）

今期リージョン大会のワークショップは、変革を基本テーマに企画が進められました。

例年のいくつかの分科会スタイルと異なり、国際役員来日を機に、全体参加のワークショップ一つに絞りました。しかし、海外のリーダーとの連絡に時間を要し、当日必要とするハンドアウトやアンケート、評価用紙も直前に到着、又ワークショップの時間帯に会員が急に減った事による席の移動でワークショップの時間が1時間取れなかったことで参加者の皆様には、説明とご理解が不十分なまま、世界大会レベルの貴重な体験のプログラムは、慌しく過ぎ去りました。



<進行内容の報告>

まず、グループ構成が出来るよう会員は座席移動を行い、配布のアンケート用紙に各自記入、「あなたの学習スタイルは何ですか？」の3つの学習形の問いに、視覚的学習者（約7割）聴覚的学習者（約2割）触覚的・動作的学習者（約1割）の結果を出した。それをふまえて事例による3つの形の学習者を壇上に上げ、その効果と違いを示した。その後、グループ（10～15名）にわかれ、話し合いがおこなわれた。この間リーダーは通訳と共にフロアに降り、各グループの所に出向いて、アドバイスや、方向付け等のやり取りを行った。異なったスタイルの学習者3名が発表をし、最後にリーダーによる見事な説得力のあるまとめによってワークショップは終了した。

貴重な時間を割いて参加者全員にご協力頂いた評価の結果は間もなくワークショップリーダーに報告されますが、率直な様々なご意見・ご感想がありました。「クラブのプログラムでいろいろな発展させられる内容で今後活用したい」、「面白い観点の大変興味深いワークショップだった」等はほんの一例です。

今回の体験とアンケートの結果を参考にし更にグレードアップしたワークショップが将来繰り広げられることを期待いたします。



大会ハイライト



講演

高円宮妃久子殿下

「バードライフーその使命と活動」 鳥類を通して環境を考える



日時：2006年7月5日（水）10:15～11:15

場所：パシフィコ 1階 メインホール

講演報告：プログラム委員 目羅てる子（東京クラブ）
大屋 奈々（東京クラブ）

メインホールの参加者すべてを包み込むように、爽やかに、そして明るいお言葉で、妃殿下の講演が始まりました。

妃殿下は2004年3月にヨルダン元王妃からバードライフインターナショナルの名誉会長を引き継いでおられます。幼い頃から自然界に興味をお持ちになられ、普通なら気味悪がられる生き物にも偏見を持たずお育ちになったご様子や、お子様も同じように自然環境の中でお育てになられたお話など、エピソードを交えながら楽しく進められました。

バードライフインターナショナルのご説明の中では「鳥は自由に国境を越える。鳥にとって人間の決めた国境は無意味であり、国を越えて保護していかなければならない。鳥は一番身近な動物であり、生態系の頂点に立つ生き物である。鳥の安全を確保していくことはすなわち自然環境を守ることである。」と感慨深く話されました。

鳥の環境を脅かす人的圧力とは、ひとつが森林破壊、もうひとつがダムや道路建設などのインフラ整備によるものであると、スライドによる事例で、世界的に環境破壊が進む現状をご紹介くださいました。ご持参いただきました写真の中には、絶滅が危惧される数多くの鳥類、さらに花や森もあり、妃殿下の自然に対する愛情の深さを感じました。

すべての動物の中で人間だけが土地、気候、環境に適應せず、頭脳を使って他の全ての動物の脅威となってしまった事に、反省をうながす指針と受け止めました。

これからどの様にして自然界と動物達がかかわって行けば良いのか、大きな課題を私達にお示し下さった感銘深い講演でした。

第25期（2006—2007）会長就任挨拶



テーマ 「共に考え共に進もう」 “Think Together, Advance Together”

第25期日本リージョン会長 石本 美知子

只今は公式訪問者、マーガレット・サザランド様により厳粛ななかにも暖かい役員就任式を執り行っていただき、役員一同身の引き締まる思いでございます。とりわけ私は、日本リージョン会長としての大きな責任をこの身一杯に感じております。この一年、私は次期会長として泉会長のもとで見習い期間を過ごしてまいりました。

正直言って私の28年間のITC生活の中で、今期ほど真剣にITCと向き合った年はありませんでしたが、その間自分自身びっくりしたことは、ITCの事で私の知らないことがほんとに沢山あったということでした。これまでの自分の不勉強を後悔すると共に、次から次へ処理していかねばならない会長の仕事内容を見るにつけ、すっかり自信をなくし、あせる気持ちは募っていくばかりなのに、どんどん見習い期間は過ぎていきました。

そんなある日「私はもう会長になる自信がありません」と漏らした私の泣き言に、ITCの大先輩であるメンバーの方が「何を言っているの。あなたは貴方なりの会長で良いのよ」と言ってくださった一言に何かしらすっと一度に肩の荷が下り、勇気を頂いた感じがしました。そうだ！私ひとりの力は小さな力だけれど、私には役員の方々をはじめ、ITCメンバー1600有余の方が付いていてくださる、その方達の力を頂いて私は進んでいこうと決心したのです。

そこで来期のテーマを、共に考え共に進もう(Think Together, Advance Together)としました。皆さん！共にという字が少し大きく書いてあるのに気付いて下さいましたか？これは皆様と一緒にという私の強い気持ちを表したつもりです。

今期の日本リージョンは、変化と飛躍のテーマのもと日本リージョンの基礎を固め、その進むべき道にあかりを灯して下さいました。来期はその灯りを頼りに、この目まぐるしく変化する社会に対応できる組織作りを、皆様と一緒に試行錯誤しながら考え、又、87のクラブがそれぞれの個性を大切にしながらも、ひとりで先を走っていくクラブや、後から追いつけないクラブなどの無い、横一線に並んで手をつないで進んでいく、そんな日本リージョンを目指したいと考えております。

私もこの一年、出来る限りの力を出して勉強し、頑張ることをここで皆様にお誓いいたします。どうか皆様も日本リージョンのために、是非私にその素晴らしい知恵と大きな力をお与えください。よろしく願いいたします。

The President-Elect's Acceptance Speech

“Think Together, Advance Together”

Michiko Ishimoto

The 25th President of Japan Region

I'd like to express my sincere appreciation to Ms. Margaret Sutherland, official visitor, for conducting the installing ceremony for us in a solemn but heartwarming atmosphere. All the board members are filled with the feeling of responsibility. Especially I'm strongly committed to the liable duties as a newly installed President.

This past year I've been in training as a president-elect under President Ms Kazuko Izumi. Honestly speaking, I've never tackled with the various problems of ITC more seriously than in this period of probation in my 28 years of ITC membership. It is during this period I found how little I know about ITC and regretted not having learned enough before. Observing lots of duties coming one after another which should be managed and settled by the president, I almost lost confidence in serving as President. Thus my training period was passing away.

One day, I said to one of the senior members of ITC, “I can't find any bit of confidence in myself. I wonder if I could fulfill those duties as a president.”

She said, “Don't worry! You can be a president in your own style”.

Her words filled me with courage. Yes! I'm not alone. I have the board and some 1600 Japan Region members with me to support.

So I've decided I would go forward depending on the help of all those fellow members.

Therefore my theme for the coming term will be **“Think Together, Advance Together”**. This shows my will that I'm going together with the ITC members. Members! Have you noticed the word Together is a little bigger?

This past term, they laid foundation of our organization under the theme “Change and Leap” and cast light on the path we should take .

Following this light, we'll step forward to build an organization which can cope with this rapidly changing society with repeated trial and error.

Also we'd like to value individualities of all the 87 clubs in the Region. We visualize the Japan Region where all the clubs go together hand in hand, without any one club running ahead or behind.

I promise that I'll give all my efforts to fulfill my responsibility for the coming term. Please provide your wisdom and power to Japan Region. Also I strongly hope for your cooperation.

スピーチコンテスト「日本語」

2006年7月4日 13:10～15:10

リージョンスピーチコンテスト委員長 島本 佐江子

クラブ、カウンスルと選出されたスピーカーの皆様が十分力を発揮されたことで素晴らしいコンテストになりました。又、手順よくコンテストが行われましたことも、PL西村みつ子さん(No.1名古屋)、お役の方々、会員の皆様のご協力のお陰と、感謝し御礼申し上げます。

入賞おめでとうございます。

- 第1位 田中真紀子 (No.8 アクア千葉)
- 第2位 楯谷 和子 (No.3 しらさぎ)
- 第3位 山川 慶子 (No.6 枚 方)



第1位
田中真紀子

スピーカーの皆様から「リージョンスピーチコンテストを終えて」と題して一言戴きました。

「リージョンスピーチコンテストを終えて」

- 石川 祥子 (No.1 葵) 終わった瞬間、胸の悶(つかえ)が下りてホッとしたと言うのが実感です。今、私が考えている事を皆様に聞いていただいただけで幸せだったと思います。支えて下さった方々に感謝します。
- 於茂田恵子 (No.2 愛 媛) ある審査員が「素晴らしい体験をすることは財産を得ることになる」と言われました。私に一つ貴重な財産ができました。この機会を与えていただきましたITC会員の皆様に感謝します。
- 楯谷 和子 (No.3 しらさぎ) リージョンまで進めること自体、驚きなのに、入賞するとは予期せぬ出来事がおきました。アフリカ旅行数の少ない今、素晴らしさを伝え楽しんで頂くには東アフリカの特殊な世界の状況説明をしなければならず、カテゴリーの難しさに戸惑いました。
- 西村 節子 (No.4 九 州) 草稿を作成する→削除して練る→喋ってみる→再考→練習。リージョン大会はそれを三回繰り返す結果だ。あのスピーチコンテストの夜、侍ブルーの戦士、中田英寿選手は引退、同室の坂崎会員と泣いた。私は引退などしない。終身現役で優勝するまで頑張るぞ。
- 美馬 淑子 (No.5 徳 島) 論題：もったいない 題目：三つの提案 で、おしゃれ・時間・脚を取り上げました。身近な問題で自分の好きなテーマでしたが、8分で三つの説得をするには中途半端だったと、又、もっと哲学的?!に、人生論的?!に、・・・と反省しています。
- 山川 慶子 (No.6 枚 方) ITCは可能性を見つけるところと人に伝えるようにしています。8分11秒と聞いた時は落ち込みましたがステージでの思いがけない3位入賞!やったあ!今回のリージョンへの出場は私に大きな感動と貴重な経験と新たな可能性をもたらしてくれました。
- 都間ゆかり (No.7 出 雲) 初めてづくしのスピーチコンテスト、今、終わってほっとしています。出雲クラブの皆様や、カウンスルNo.7の皆様に応援していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。思いもよらない経験が出来ました。お世話になった皆様ありがとうございました。
- 田中真紀子 (No.8 アクア千葉) 「うれしいけれど、信じられない」デビュー曲でレコード大賞をいただいた新人歌手の気分です。ン十年ぶりに緊張しました(身は細りませんでしたが・・・)。応援して下さった方々、「おめでとう」と声をかけて下さった方々の優しさが身にしみました。

大会ハイライト

スピーチコンテスト「英語」

2006年7月5日 12:30～14:30

英語のコンテストは高円宮妃久子殿下ご臨席のもと行われました。今年は世界大会がありませんので優勝者は2007年のリージョン英語スピーチコンテストの出場権を得ることになります。

手順よくコンテストをリードしてくださいましたPL小寺恵子さん（No.8 柏）、お役の方々、多数の御出席を戴きました会員の皆様に御礼申し上げます。

入賞おめでとうございます。

- 第1位 杉山 望（無所属 松 山）
- 第2位 加藤 泰子（No.8 青 山）
- 第3位 戸塚 幸（No.2 イースト神戸）



“素敵なサプライズが”

久子妃殿下が御退席なさる際に最前列まで下りていらして1位の杉山さんに祝福の握手、杉山さんは『この手は洗えない』と大感激！！

「リージョンスピーチコンテストを終えて」

南谷みどり（No.1 葵） クラブ、カウンスル、リージョンのすべてにおいて初めてのコンテスト参加で、いい経験ができました。今回は話すことに精一杯でしたが、これからはジェスチャー等も工夫して、更に聞き手の共感を得られるようなスピーチをしていきたいと思っています。

戸塚 幸（No.2 イースト神戸） 38年間の鎖国状態の生活の中、16年間のITCは私にとっての“平戸”でした。今回のスピーチはシリーズの完結篇で、その区切りのスピーチを大舞台で聴いていただくチャンスを得て幸せでした。開港後蚤は本当に跳べるでしょうか？

川島 泰子（No.3 クリスタル神戸） コンテスト委員会の方々はじめ皆様は大変お世話になりました。カウンスルNo.3から送り出して下さった皆様には、入賞できず申し訳ない気持ちで一杯ですが、横浜の大きなステージでの幸せな経験を頂戴し心より感謝申し上げます。

稲富奈津子（No.6 北 摂） とってもステキな5人の出場者の方々の魅力を感じながら、貴重な経験を一つ積ませていただきましたことに感謝しています。これからも「もっとがんばらなきゃ。」という前向きな気持ちにさせてくれるITCですね。ありがとうございました。

加藤 靖子（No.8 青 山） ITCの皆様のおかげで、貴重な経験をさせていただきました。感謝しております。「プディングのおいしさは食べてみなければわからない」という諺どおりでした。参加して本当によかった！そして、反省点を今後の課題にします。ありがとうございました。

杉山 望（無所属 松 山） 娘の2人目の赤ん坊が予定より一ヶ月も早く6月末に生まれました。リージョンが終わってからと腹づもりしていたのに想定外です。優勝も、想定外。高円宮妃にお声を掛けていただけたのは、想定外中の想定外。人生予定通りに行かないから面白いのですね。

審査員に素敵な方々をお迎えいたしました

近くで接することが出来ました委員会はお役冥利につきました。中でも感銘を受けましたのは加賀美幸子様です。とても肌の美しい方で、美しいのは肌だけではなく、立ち居振る舞い、思慮深い言葉、そして謙虚さ、私たちが学ばねばならない多くを教えてくださいました。

スピーチコンテスト委員会一同

多くの方々との出会い、又、学びの機会を与えていただきましたことに感謝いたします。



大会ハイライト



第24期日本リージョン年次大会表彰

会員委員会

1. 20年以上継続して会員数30名以上のクラブ（2クラブ）
2. 会員数30名以上のクラブ（6クラブ）
3. 20年継続会員（55名）
4. 30年継続会員（8名）
5. 40年継続会員（2名）
6. 今期最も多く新入会員を紹介した会員（3名）

2007年ITC世界大会表彰 TARGET 20/20

20%会員増加クラブ 阪神クラブ・芦屋クラブ・しらさぎクラブ・紀州クラブ

会員20名達成クラブ 西宮クラブ・瀬戸内クラブ

今期の役員会で検討の結果、今まで曖昧であった会員年数は入会から満年数で数えることに統一されました。それに基づき、各クラブの会員委員長からこんなに多くの会員が表彰対象として申請されました。あらためて「継続は力なり」という言葉の重みを感じます。

皆様おめでとうございます。

日本リージョン第二副会長 大野三恵子

資格認証委員会

資格認証状を最多取得したことにより表彰を受けるクラブ（3クラブ）

カウンスルNo.3 姫路クラブ

カウンスルNo.4 ひろしまクラブ

カウンスルNo.6 金沢クラブ

2005年10月1日～2006年5月20日に取得者4名があったクラブが最高です。このクラブを最多取得クラブとしました。

一人でも多くの会員が資格認証課程に関心を持ち参加することを願っています。

日本リージョン資格認証委員長 片山 一子

大会ハイライト

晩 餐 会

VIP接待委員長 柘植 法子

第24回 ITC 日本リージョン年次大会、二日目の夕方はバンケット、今年初めての試みとして、立食で皆さん自由にいろいろの方々とお話することができました。高円宮妃久子殿下のご臨席もたまわりました。

バンケットは泉和子会長の開会の挨拶ではじまり、高円宮久子妃殿下のお言葉、公式訪問者の Margaret Sutherland さんのご挨拶、そして ITC 国連プロジェクト特別任命役員・前期国際会長の Wilna Wilkinson さんの日本語による芭蕉の俳句をまじえた乾杯の音頭、これも新しいスタイルと感心すると共に勉強になりました。とてもすばらしいオープニングでした。

午前中にご講演いただいた C.W.Nicole さん始め、出席者は500名近

くと大変多く、その中を久子妃殿下は親しくお話をしてまわってくださいました。これも立食ならではこのことでしょう。ただ、2時間以上を立ったままでお食事するのは、一寸疲れられた方も

いらっしゃったのではないかと、心配いたしました。

エンターテイメントは、アングルンという竹で出来たインドネシア民族楽器による演奏で、初めて聴くアングルンの調べにうっとりしました。演奏者の Indah Putri さんが出席者にも演奏の方法を教えてください、一緒に演奏できたのもすばらしかったと思います。このバンケット一つとっても新しい試みが沢山ありました。



日本語をまじえ、乾杯の音頭をとる直前会長 Wilna Wilkinson



アングルンを手にする来賓席の皆様

エンターテイメント

エンターテイメント委員長 澤登 芙蓉

今年のエンターテイメントはインドネシアの民族楽器アングルンを基に、独自の演奏法とアレンジで楽器の魅力を最大限に引き出すことによって、わが国だけでなく海外にも高い評価を得ているアンサンブル「インダ・プトゥリ」をお招きいたしました。出席された殆どの皆様はアングルンの演奏を聞かれたのは初めてではなかったかと思えます。

曲目も、叙情的で懐かしい「日本の四季より 夏」「赤い靴」、またユーモアたっぷりの「セリヨ坊主」などこれが竹の音かと皆様、驚かれたご様子でした。演奏の途中に、会場の皆様に体験していただけるようアングルンをお配りし、インダ・プトゥリリーダーの新谷たか枝先生のリードにより、唱歌「故郷（ふるさと）」を全員で演奏し、また合唱し、会場が一つの音楽会の雰囲気になりました。アングルンという珍しい楽器に実際に触れ、演奏された方はとても良い経験になりましたとおっしゃってくださいました。

最後に5月のジャワ島地震へのチャリティーということで、インダ・プトゥリのCD、ミニアングルンのブローチを販売いたしました。会員の皆様が快くご協力くださり、CD51枚、ブローチ50個完売することが出来ました。売上金は新谷先生がインドネシアの子供たちへ寄付をされるそうです。会員の皆様の暖かいお心にインダ・プトゥリの皆様からも感謝のお言葉が届きました。またエンターテイメント委員会一同も深く感謝いたしております。本当にありがとうございました。





大会ハイライト



謝 辞

大会コーディネーター 岩佐 圭子
 コ・コーディネーター 岸 真智子
 山内 昌子

第24回ITC日本一ジョーン年次大会は770名近くのお客様、会員の皆様をお迎えして無事に終えることができました。皆様のご協力と温かいお気持ちあってのことと感謝申し上げます。

この大会では、晩餐会が初めて立食式で行われましたが、いかがでしたでしょうか。インダ・プトゥリの奏でる優しい竹の音色や、「みなとみらい」の素晴らしい夜景はお楽しみいただけましたでしょうか。

今回は通常より遅く始まった準備委員会でしたが、大会までの約10ヶ月、大会テーマ「MAGMAー内なる力ー」のように準備委員の一人一人からだんだんと力が沸き上がり、最終的には皆が一丸となって三日間の運営をやり遂げられました。

大会準備を通じて改めてコミュニケーションの大切さ、人と人との出会いの素晴らしさを学ばせていただきましたほんとうにありがとうございました。



ようこそ横浜へ！！
大会準備委員長挨拶



登録委員会は大会の“顔”
にこやかに対応します



とっておきの横浜ならこちら！ご案内いたします
大会中の忘れ物はホテルにお預けしてあります



採決に一役買う
ページ委員長
大きな声で1、2、..



大会風物
行進直前の会長に儀典係がアドバイス



黒装束の写真委員会



大会ハイライト



年次大会参加者の声

今大会では参加者に対して大会評価のアンケートは実施されませんでしたので、編集では大会3日間の各プログラムに対し、1-2名の参加者を無作為に、但し、偏りのないように選び、下記の4点の質問に率直な意見、建設的な提案をくださるようにご依頼いたしました。

紙面の都合でやむをえず、割愛した部分もありますが、ここに「大会参加者の声」として皆様にお届けいたします。

1) 印象に残った点(良い点・悪い点) 2) 今後への提言 3) 準備・進行手順について 4) その他

大会1日目

<C M T>

- ・次期の任務を果たすためという責任感と不安感で各テーブル活発な質問と実務的説明で活気があり、顔と顔を合わせながら、リージョンの意志を全体に伝達していく場としてはとても有効であった。
- ・なかには資料を読みあい、うなづくだけで時間が経過した部門もあり、残念であった。秋のCMTについては必要を感じないという部門が殆どだった事はうなづけた。
- ・リージョン大会の中のCMTという意識がどの程度浸透しているか疑問ですので必要な場合は当初から説明が充分である事が望ましい。
- ・受付と登録がかなり手間取り要領が分かりにくかった。

<T P P>

- ・Anne Isottさんを新メンバーに見立てたinductionの方法の実践が印象に残った。
- ・オズの魔法使いの「イエローブリックロードにそって」のメロディーがわからなかったため、日本語で全員揃って歌えなくて残念だった。
- ・Margaretさんが皆の意見を聞きにテーブルまでこられたが、マイクの準備がなされていたら、Margaretさんの声、皆の声が聞けたのに残念だった。マイクの持っていき方・使い方は難しいと思うが・・・
- ・黒板が会場右端からは見にくかった。黒板の位置、使い方に工夫が必要である。
- ・もしメロディーがピアノ演奏? テープ? とかで用意され一緒に流してもらえたらある程度わかったかとも思う。
- ・それ以外は準備、進行手順は良かった。貴重なTPPに参加でき、関係者の方々のご準備のご苦労に感謝!

<Wilna Wilkinson 前国際会長によるワークショップ>

- ・[ネットワーク作り]というテーマのもと、参加者に実践的な体験(その会場内で、5分で何人の参加者と自己紹介し合えるかなど)をさせるなど意表をつく展開で刺激的であった。
- ・資料があればもっと主旨が理解しやすかったのではないかと思った。
- ・CMT、TPPに引き続きで、少し眠くなりかけてたのが、眠気の覚めるプログラムで興味深かった。

<「国際関連事務手続き」についての研修会>

- ・英文のフォームの各項目について細かい説明がなされ、説明にそって、用紙の記入方法を実際に練習したことによってよく理解できた。
- ・事務局の方がテーブルを回ってくれたので、疑問点がその場で解消し、とてもよい方法だと思った。
- ・この研修をカウンスルのCMTで行われないのでしょうか。リージョンレベルになると、会計担当の方が必ず出席するのは難しいのでは?
- ・代理参加の場合、資料(書き込んでいるので)を説明会后Eメール添付でいただけるとありがたい。
- ・ミスがおこりやすい手続きなので、説明会は有意義だと思った。参加へのお誘い方法とそれをカウンスルで展開する方法を教える事も大切だと思った。

大会 2 日目

〈開 会 式〉

- ・まず壇上の配置に対して、役員の出場所のバランスが良く、見栄えがした。今までになく役員入場の雰囲気は良いテンポを保ち、役員全体の息が合い、この1年の集大成が現れているように感じられた。
- ・各クラブの会長行進は、入場時の間隔と、壇上でのクラブのプラカードの高さのばらつきが気になった。
- ・開会後に会場の後部の会員席で騒々しく歩き回っている会員が目立った。会員の自覚が求められる。
- ・ITC宣誓の時リーダーの方と会員との間でスピードがややずれていた。リーダーは宣誓の速さを少し考えて練習する必要性を感じた。
- ・準備はよくできていたと思う。進行手順もよく、会長のさりげない配慮もとてもよくできており、今まで通りではなく今の時代に即した大会運営に改革されている点に感動した

〈ビジネス〉

- ・丁寧で格調高い事務会議であった。審議で活発な討議がなされたのはよかった。
- ・審議時間があまり取れなかった事、毎回の事なので配慮ができないか、また翌日審議ができるのであるなら、10分程度の延長動議は、必要なかったのでは？
- ・議長の審議に対する采配は解り易く、的確に指示されていて勉強になった。
- ・内容についての準備はなされていたが、割り当て時間を意識した準備がなされていればより良かった。
- ・通訳は最低限に止めるべきではないか？ ITCとしてある程度の通訳は必要だと思いますが。
- ・ページは発言者の近くにスタンバイし、機敏に行動して欲しい。時間が少なく、ロスが勿体無かった。
- ・選挙の方法を一考しては如何でしょうか？着席のまま投票用紙を回収する工夫は出来ませんか？
- ・段上の役員席の足元が見えない工夫をして欲しかった。とても気になった。

〈日本語スピーチコンテスト〉

- ・舞台上がすっきりしていて、ゆったり感があった。プログラムリーダーは不必要に余計な言葉がなく、リーダーとして目立ちすぎず、好感がもてた。
- ・聴衆へ静かにするように注意を促す必要があった。静かな中でスタートできる工夫が必要である。
- ・かさかさ紙の音をたてるマナーの悪い聴衆がいて残念だったが、多くの会員はスピーカーにとって元気のよい聴き手であった。

〈講演「森から未来をみる」〉

- ・「豊かな森と豊かな自然が豊かな心をはぐくむ」と流暢な日本語で力説する姿に心を動かされ、心から日本の森が破壊されていくのを歯がゆく思うニコル氏の思いが伝わってきた。話だけでなく、スライドを使って視覚に訴えたのもより効果的に心に入ってきた。
- ・今後もリージョンならではのテーマでの講演を期待している。
- ・大変よく準備されていて、スムーズに講演がはこばれていたと思う。
- ・ITCと環境との接点が見えない。

〈全体参加のワークショップ「教育における異なった学習の仕方」〉

- ・ワークショップは何をするのか説明がよく分らなかった。
- ・講演の後、同じ場所で行われたのは良かったが退席する人が多く、「前につめて下さい」云々のアナウンスにかかった時間を考えると、もう少し他の方法がなかったのかと思った。
- ・日本語を話さないワークショップリーダーには通訳が必要なのは明らかなので、プログラム委員の中で通訳できる人がするとか、今一つリーダーとの連携が心もとなかった様に思う。
- ・アンケート記入などの事前の徹底、グループ分けなど準備する必要があるのではと思った。
- ・今回のプログラム全体から何か習って帰るといふ部分が少なかった。

〈晩 餐 会〉

- ・高円宮妃久子殿下がメンバーの間を歩きながら、皆様にお声をかけてくださったことに感激した。
- ・晩餐会会場は少々狭く、ざわざわしていた。ブッフェのマナーが悪かった。ステージ上でのスピーチ中におしゃべりするのはマナー違反。会終了後のアナウンスメントもおしゃべりのため聞こえなかった。
- ・ブッフェスタイルの晩餐会は考慮すべきである。
- ・初めての場所であったが、よく準備がされていて印象的であった。

〈エンターテイメント〉

- ・珍しい楽器アंकルンの素晴らしい演奏を初めて聴かせていただき、皆で「ふるさと」の演奏に参加できとても楽しい一時でした。「箱根の山」「赤い靴」と横浜でのリージョン大会が結びつきました。
- ・参加型のエンターテイメントが記憶に残り、一番よいと思います。
- ・最前列に立っていたので、よく見えてよかったです。後ろの方はあまりよく見えなかったのではと心配です。席がないので、お疲れになった方もいらしたのでは？

大会 3 日目

〈ビジネス〉

- ・各委員会報告を大会冊子に掲載し従来の報告時間が短縮されたことを新しい変化と感じたが1年間の長い活動期間のご苦勞を、委員長退場時にもう少し丁寧に慰勞されてもよかったのではと思う。
- ・審議中にテラー委員がフロー席の前に立ち続け視覚をさえぎった。しゃがんだりする工夫が欲しかった。
- ・修正案採決の賛否票数をテラー委員長が明確な方法で数えられたが、派遣員への指示が徹底していないように見受けられた。

〈英語スピーチコンテスト〉

- ・大変行き届いたスピーチコンテストだった。日本語の要約は字の大きさ、まとまりも良く、特にプログラムリーダーの英語力（発音、語彙の豊富さ、文章力など）、スピード・トーン全て非常に聞きやすく、役員・審査員・聴衆・スピーカー全てに対し配慮が行き届きすべてすばらしかった。
- ・評価者は大きいお役なので、せめて名前・クラブ紹介ぐらいして欲しかった。
- ・文句のつけようがない。コンテスト委員長もしっかりした方で、落ち着いておられたように思う。

〈就任式〉

- ・舞台設定は手早くなされた。泉会長が最終チェックにこまめに動いておられたのが印象的。
- ・インストラリングオフィサーが、握手をしながら、自然体で、暖かい励ましのことばをかけられたのは印象的で、日本人が学びたい点である。
- ・舞台が広いので、壇上の新旧役員的位置を、聴衆から良く見えるようにする工夫がほしかった。
- ・ギャベル引渡しは、一つの見せ場であるから、舞台中央で堂々とするのが望ましい。
- ・通訳者とオフィサーの打ち合わせ不足が感じられた。

〈クロージングソート〉

- ・アメリカで発生した「同時多発テロ」で、コンピュータ技師を無事に地上に誘導した盲導犬の物語「クイールの一生」の主演を演じたラフィー号がこのクロージングソートの手助けとして登場し、人と犬との、又、人と人とのコミュニケーションの美しさを説いたクロージングソートの内容はこの上ない感動でした。

〈大会準備〉

1日目

- ・大会登録と研修会の登録場所の案内が不十分で混乱していた方が多々ありました。
- ・登録受付と研修会の受付にはもう一考必要。

2日目

- ・議長の議事運営手順の豊富な知識と熟練度は尊敬しましたが10分間の延長動議の出し方は疑問でした。
- ・折角の晩餐会が立食、会場が2箇所に分かれていたことは不評でした。
- ・経費、その他いろいろ問題はあると思いますが同時通訳ができる会場が使用できることを希望する。
- ・役員・委員長などはよく準備されていましたが参加する会員の準備はこれでよかったのかと反省している。
- ・会長行進は距離が長く、階段があり、あまり条件が良くないためか盛り上がりにかけていた。壇上の役員への対応もバラバラに感じました。
- ・キット袋の改善をお願いします。簡単なビニール袋の方が荷物にならず後の処理がしやすい。
- ・準備の課程からのご苦勞、気配りに感謝。皆様の暖かいお心に触れさわやかな余韻・充実感を持ってそれぞれの地に帰りました。本当にお疲れ様でした。

3日目

- ・事務会議のスタート準備はスムーズであった。
- ・ブリーフィングで派遣員にマイクの使い方（スイッチの on, off）の指導があった方がよかったのでは？
- ・インスピレーションの時、聴衆はもっと静かに聴くべきであった。
- ・プログラムに書き添えてもらおうとわかりやすい。



ベアテ シロタ ゴードンさんより
ITC日本リージョンへのメッセージ到着！

戦後、法の平等を説き、日本人女性の人権を確保する事に尽力を注がれたベアテ シロタ ゴードンさんと言う女性をご存知の方も多いと思います。この度、カウンスルNo.1のプログラムをきっかけに、日本リージョンに対して激励の書面を頂きましたので、ご披露します。

略歴

1923年ウイーンに生まれ、少女時代を日本で過ごし、日本の女性が無権利状態に置かれていることをつぶさに見て育ち、1945年GHQ民生局のスタッフとして再来日された時、22才の若さで日本国憲法の人権条項に携わり、日本国憲法に男女平等を明記することに尽力された。ベアテ草案は憲法第14条「法の下での平等」、第24条「両性の平等の原則」などに生かされ、その後日本、アジアの文化交流活動を展開され、現在ニューヨーク在住。

To ITC Nippon Region

Article 24 of the current Japanese Constitution declares the equality of the sexes. In contrast to the Meiji Constitution and its Civil Code (which says that women are like children and have to be led by men!?), the post-war Constitution gives women the rights to inheritance, freedom to marry anyone they want to, freedom to choose domicile, equal property rights, etc. Japanese women have taken to these rights and have tried to include them in their everyday lives, even going to the courts to fight for them. And thus they have taught younger women how to organize and communicate their message of sexual equality. The ITC in its great zeal to teach communication has given the Japanese women many tools with which to achieve the goals they have set up for themselves. I congratulate the ITC Nippon Region for its efforts and hope that Japanese women will continue in their fight for equality. **Gambatte kudasai!!**

Beate Sirota Gordon

ITC日本リージョンの皆様へ

現日本国憲法第24条は男女の平等を宣言しております。(女性は子供のようなものであり男性によって導かれなければならない!?)とした) 明治憲法及び旧民法とは対照的に、戦後の憲法は女性に相続の権利、誰でも望むものとの婚姻の自由、住居選択の自由、平等の財産権などを与えています。日本の女性はこれらの権利を取得し、日々の生活の中に含めようとし、それらの権利を勝ち取るために裁判で争うことも厭いませんでした。このようにしてより若い世代の女性たちに組織化の仕方や、男女平等のメッセージの伝え方を教えてきました。コミュニケーションを教育する上で大きな熱意を持つITCは自分たちのために設定した目的を達成する為のいろいろな手立てを日本の女性たちのために提供してきました。私は、ITC日本リージョンの努力を讃え、日本の女性たちが平等のための戦いを継続するよう願っております。頑張ってください!!

ベアテ シロタ ゴードン

編集後記

- 日本リージョン会員の「情報の源」として的確な情報を収集し、タイムリーに掲載する一方、毎号、編集独自の企画を展開し、会員が関心を持つ紙面づくりを創意工夫した1年でした。24期リージョン会報の発行に際し、投稿、写真提供など種々ご協力くださいました多くの会員の皆様にこの場をお借りし、心からお礼申し上げます。
編集者 加藤啓子 (No.2 甲南クラブ)
- パソコン画面ではなく、会員の手元に届く会報には、どんな情報が求められるのか、又提供できるのかスタッフと模索しつつ、意見を交わしながらページを作り上げる楽しみを実感した1年でした。
若林裕子 (No.2 甲南クラブ)
- 今期方針「会員が知るべき情報の優先掲載」を使命として、提供される記事より読み手が興味と関心を引き出せるよう、原稿に命を吹き込むページ作りを目指して取り組んだ試行錯誤の1年でした。
小田和子 (No.5 豊中クラブ)
- お寄せいただいた原稿が主役の編集会議は毎回刺激的で楽しく、そして読みやすく、すっきりとした紙面作りのための編集作業は慣れぬパソコン操作との闘い。充実した学びの1年でした。
高城良子 (No.6 北摂クラブ)

ご意見、ご助言等は下記メンバーまで。

編集者：加藤啓子
スタッフ：若林裕子 小田和子 高城良子

I T C日本リージョン会報 Vol.24/No.4
編集・発行：第24期 I T C日本リージョン
印刷：上野タイプ印刷(株)



ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2005—2006

ITC 日本リージョン 声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.